

2022年3月28日

2021年度第2回 学校関係者評価委員会 議事録

学校法人山口学園  
ECC 国際外語専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校は、「学校関係者評価委員会規定」に基づき  
2021年度第2回学校関係者評価委員会を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

1 実施日時 2022年2月19日(土) 14:00-16:30

2 実施場所 ECC 国際外語専門学校 1号館7階 (一部オンラインにて実施)

3 学校関係者評価委員 ※順不同

(1) 関連業界等関係者

委員長 西出 由佳氏 株式会社K&I 旅客・営業部 マネージャー

塩谷 典子氏 株式会社TEI 大阪支店 支店長

(2) 地域関係者

中上 隆雄氏 済美地域社会福祉協議会 会長 ※都合により欠席

(3) 高等学校関係者

貴治 康夫氏 立命館高等学校 教員

(4) 大学関係者

原 清治氏 佛教大学 副学長 教育学部教授

(5) 本学卒業生

杉井 繭氏 ECC 国際外語専門学校 海外インターナショナルコース卒業生

#### (6) 同席者

瀧山 淳一	ECC 国際外語専門学校 学校長
大谷内 圭	ECC 国際外語専門学校 副校長・教務課責任者
伊藤 功	ECC 国際外語専門学校 進学指導セク長
新 大承	ECC 国際外語専門学校 専門課程留学生コース 責任者
松井 治	ECC 国際外語専門学校 英語課責任者
岡 恵一郎	ECC 国際外語専門学校 広報課責任者
福本 雄三	ECC 国際外語専門学校 進路指導課責任者
新谷 優貴子	ECC 国際外語専門学校 教務課専任教員
書記 山本 昂輝	ECC 国際外語専門学校 進路指導課

#### 4 報告内容

##### (1) 開会挨拶【瀧山】

- ・1 回目に引き続き、今回も新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、一部オンラインでの実施。
- ・今年度も昨年から引き続き、新型コロナウイルスの影響で学校行事や研修等の多くが中止となった1年だったが、先日無事にすべての授業を終えることができた。
- ・前回頂いたご意見は学内で「学校評価委員会」を設置し、振り返りを行った。後ほど担当者より報告させて頂くので、外部からの視点でご忌憚のない意見を頂戴したい。
- ・学内組織(1号館、2号館、3号館の役割、GEC、進学セク)概要について説明。
- ・今後は国際キャリア学科(3年制)の内容の充実を図っていく。

##### (2) 2021年度第1回学校評価委員会検討事項の対応について【各担当者】

パワーポイント資料に基づき報告。以下特記事項のみ記入

##### ■教員の指導力向上について【大谷内】

- ・新たに教員同士の授業見学に加え、新任教員を対象とした教案勉強会を実施。
- ・教案土台の設定から授業展開に関する具体案の提示に向けて、次年度より学校が求める授業モデルを設定し、教員任せにならない仕組み作りに取り組む。

##### ■キャリアサテの企業連携授業について【福本・山本】

- ・総合英語、プレゼンテーション言語コースを対象に、課題である職業観の養成を目的に、外部6企業/団体にお越しいただき、セミナーを実施。
- ・次年度は上記以外のコースや留学生への活用も検討していく。

## ■ICT 活用力の向上について【大谷内/新谷】

- ・今年度は Wi-Fi 環境の整備や各学生へのノート PC 無償貸与などハード面の充実を図った。
- ・今年度の具体的な取り組みとしてオンラインでの授業提供や期末試験の実施環境の整備、ICT 導入における教員による成果発表会を行った。今後は更にリテラシー面の拡充を図る。
- ・ICT 活用力に関する教育目標の定義を策定していく。
- ・以前まで PC 操作に不安を抱える学生が多かったため、PC 配布は学生への学びの環境提供という意味で良い取り組みであった。

## ◆委員からのご意見/ご質問

### 塩谷委員

- ・ICT 活用力向上について、課題解決に向けての取り組み姿勢は素晴らしい。企業側も ICT 活用に取り組んでいる為、学生には在学中に基礎知識を身に付けていただき、社会では即戦力として活躍してもらえることを期待している。
- ・学校として問題解決力向上に関するカリキュラムはあるのか？
  - ⇒一例として、英語科目において社会問題に対し英語でディスカッションを行うことで、課題認識力や主体性などの社会人基礎力の養育を図っている。(大谷内)
  - ⇒次年度は海外 PBL の授業を全コース(韓国語コース・大学編入コースを除く)に導入し、海外の大学生と異なる文化背景を基に社会問題についてディスカッションを行うことで多文化理解、社会人基礎力の習得を目指していく。(松井)
  - ⇒ホリスティックでは思考トレーニングを行っており、時事問題に対してグループディスカッションを行うことで学生の考える力を養っている。(新谷)
- ・キャリアパスについて、学生が授業での学びを通じて業界に対して理解を深め、自らの興味に対して問題意識を持ち、将来に向けて行動できるような場にしてほしい。

### 貴治委員

- ・教員の指導力向上について、いろいろ工夫されていると感じた。
- ・高等学校でも授業見学を実施しており、自身の専門ではない科目についても見学を行うことで様々な意見集約が出来ている。ECC 国際外語専門学校では、学校内だけでなく他校間(アーティストやコンピュータ)でも授業見学を実施しているのか。
  - ⇒現状学校間の授業見学は実施できていない。しかしながら本学内では英語科目以外にもアライヤやホリスティック等の専門科目があるため、英語教員が留学生授業を、ホリスティック教員が貿易系の授業を見るなどの学び合いは行っている。(大谷内)
- ・学校が求める授業スタイルの設定についてはとても良い取り組みだと思う。
- ・キャリアパスについて、高等学校でも同内容の課題研究授業を設けているが、正規科目でな

いため学生の取り組みも疎かになることがある。ECC はどうか？

⇒総合英語コースの正規の科目として実施しており、単位も付与している。授業後に自ら業界を調べる為にキャリアセンターへ来る学生もいる。(山本)

・ICT 活用力向上におけるオンライン授業等の新たな取り組みについて、学生はついていけるのか？

⇒PC 操作については1年間経ってようやく慣れてきている印象。また就職活動でオンライン面接が増えている中で、WEB 面接指導も行っており徐々にではあるが、活用も出来ていると感じる。(新谷)

・今後社会で情報がさらに増えていく中で、情報を整理する一つのツールとして ICT を活用していくことも大切だと考えている。

#### 原委員

・IR を使った学校改善、PDCA が重要だと考えている。例えば本委員会などの外部からの評価や意見を上手く活用した取り組みは非常に有効だと思う。引き続きこの様な取り組みを通しての学校改善を期待している。

・オンライン授業で何をやるかについて、現在大学で議論が行われているが、今後の学習において非常に重要な点だと考える。学問的には何をやるかで学習効果に違いはないが、どの方向で学びを進めていくかについては学校の方針が大切になってくる。ECC はどうか？

⇒非常に悩ましいところではあるが、本学では出席確認の観点から何をやるかで進めているケースが多い。今後検討していきたい。(瀧山)

⇒オンライン授業期間が長くなる中で、学生の出席状況を重視しており、また教員による学生管理の点からも何をやるかにして進めている。(伊藤)

#### 杉井委員

・自身が学生の時はオンライン授業等は無かった為、やはり PC 使用に苦手意識を持っていた。その為 PC 配布から活用の取り組みは素晴らしいと思う。なお使用に際して、社会では個人情報の管理が徹底されているので、その点についても学生へ指導していただくと良いと思う。

・キャリアセンターの業界セミナーの取り組みは良いと思うが、業界を希望することはできるのか？

⇒セミナーについて、まずは幅広く沢山の業界を知ってもらいたいと考えている為、学生からの希望は取っていない。しかしながら業界の選定に際しては、先輩の就職先や学生からの進路希望調査結果を考慮している。(山本)

(3)2021 年度学校運営振り返り(募集・教務・進路)【各担当者】

パワーポイント資料に基づき報告。以下特記事項のみ記入

■2021 年度学校運営振り返り(募集)【岡】

- ・集客数/出願数について報告。
- ・新型コロナウイルスの影響による観光業界等への不安、少子化、大学進学志向が集客減の要因。
- ・引き続き最後まで募集活動を行い、対応していく。

■2021 年度学校運営振り返り(教務)【大谷内】

- ・授業アンケート結果について報告。特に前期授業については、前年に比べてオンライン授業等の質向上を図ることで、満足度向上につなげることが出来た。
- ・進級/卒業率について報告。入学時に事前説明をしっかりと行うことで、新型コロナウイルスに起因した休退学が減少した。一番多く占めた事由は就職に起因するもので、希望業界への就職不安を抱える学生がいた。

■2021 年度学校運営振り返り(英語課)【松井・新谷】

- ・英検/TOEIC の学生受験結果について報告。
- ・TOEIC は年 4 回学内で試験を実施しており、最終的には昨年度に比べて点数を上げることが出来た。今後はさらなる向上に向けて施策を実施していく。
- ・全日本 ECC 英語レベルコンテスト、第 4 回 Global Education Awards についてはオンラインにて実施した。
- ・今年度の第 4 回 Global Education Awards は留学生の活躍が多くみられた。今後は日本人も検討できるようさらに取り組んでいく。
- ・留学については、帰国後の隔離がネックとなっており、実施に際しては工夫が必要だと考えている。一部の学校では留学を実施しているところもあるが、現地で新型コロナウイルスに感染した際の対応等を再度検討していくことが求められている。

■2021 年度学校運営振り返り(進路指導課)【福本】

- ・内定率について報告。就職率 100%を目指して引き続き取り組んでいく。
- ・インターンについて、新型コロナウイルスの影響により厳しい状況の中、CA 職 1 名/GS 職 4 名の内定を獲得することが出来た。
- ・2023 年 3 月卒業予定インターン在籍者の就職活動状況について、例年以上に航空業界からの求人をいただいております。現在業界就職を目指して活動を行っている

#### ■2021 年度学校運営振り返り(大学編入)【伊藤】

- ・進学決定状況について数値報告。難関大学の合格率は下がりましたが、国立大学合格者数は向上。
- ・下位大学への合格者が増えており、レベル差が拡大している。
- ・学生の安全志向が拡大しており、難関大学にチャレンジしない傾向にある。またリタイする学生数も増えているので、今後はレベル差拡大に対して対応していく。

#### ■2021 年度学校運営振り返り(専門課程留学生)【新】

- ・就職内定率について数値報告。
- ・新型コロナウイルスの影響で、留学生採用は厳しい状況。特に海外渡航に関わる業務については回復の見通しが立っておらず採用自体が少ない。しかしながら貿易関係の職種については求人をお願いしている。
- ・採用に際しては日本人と同じ基準で採用活動を行う企業が多くなってきている。

#### ■2021 年度学校運営振り返り(日本語学科・国際コミュニケーション学科)【瀧山】

- ・日本留学試験結果について数値報告。
- ・大学/大学院の合格実績について数値報告。
- ・授業満足度アンケート結果について数値報告。

#### ◆委員からのご意見/ご質問

##### 貴治委員

・こども教育コースの進路決定状況は？

⇒求人は毎年多く頂いており、小学校や幼稚園教諭、保育士、インターナショナルスクールへの就職者が多い。例年授業カリキュラムの多さから就職活動時期が遅くなっていたのが課題であったが、現在は活動時期を早めることで早期からの適職発見に繋げている。(福本)

・短期海外留学の内容について、期間と現地学生との交流の有無は？

⇒期間はプログラムによって異なっており、1週間や2週間など全部で7つのプログラムを用意している。ただし海外実施の関係上、期間は短めに設定している。現地学生との交流については、海外学生とディスカッションを行うようなプログラムも一部用意している。ただし参加に際しては、ある程度の英語力が必要となる。(松井)

#### (4)2022 年度の取り組みについて【瀧山】

- ・今年度第三者評価を受審し3月に評価機構と本校HPにて情報公開予定。最終報告はまだだが、「評価基準を満たしている、主な改善を要する点は特にない」との見解をいただいている。

- ・教職員や学生との意思統一、学生募集を課題と捉え取り組んでいく。
- ・ICT教育のさらに推進し、新型コロナウイルス禍でも学びを止めないよう取り組んでいく。
- ・知識について説明。英語教育において日本 No.1 を目指していく。
- ・2023年4月開校予定で高等部の設置準備を進めている。
- ・新たに3年制コースの拡充の一環として、国際科目を開講。加えて3年制コースの商品力向上と比率の拡大を目指していく。

(5) 総括【西出委員長】

- ・コロナ禍で学生人数は減少しているが、この期間を活かし教育の質を高めてほしい。
- ・ICT活用や留学代替プログラムなどの取り組みは素晴らしく、ウィズ/アフターコロナの時代を見据えて、引き続き教員の質や教育の質向上を図っていただきたい。

(6) 閉会挨拶【瀧山】

- ・本日は長時間にわたりご参加いただきありがとうございました。
- ・先程方針でも伝えた通り、新型コロナウイルスの影響により思うように教育活動ができないが、学校としては高等部の新設等新たな取り組みを始めていく。今後も外部からの視点や意見を頂戴し、学校運営に反映させていきたい。
- ・本日委員長を担当いただいた西出委員長だが、今回の委員会にて退任。後任は同じく株式会社Kより取締役社長の岡様に担当いただく予定。なお西出様については企業連携の一環として今春よりECC国際外語専門学校へ出向予定。  
⇒ECC国際外語専門学校と縁をいただいたので、今後は今回とは違った形で役に立てるよう精いっぱい取り組んでいきたいと考えている。(西出)
- ・次回2022年9月3日(土) 14時~予定。

以上